令和7年度 第1回 三条市都市計画審議会議事録

1 開会の日時及び場所

令和7年6月6日（金） 午後1時30分から2時30分まで
三条市役所 三条庁舎3階 第一会議室

2 審議会委員の現在数 17名

3 出席委員 16名

1号委員 松川 寿也
河原井 拓也
杉井 旬
高橋 清
長野 功
中条 秀一
栞原 一郎
2号委員 浅間 正直
内山 敏雄
早川 直樹
3号委員 米山 哲郎
安井 和也
4号委員 阿部 銀次郎
小林 誠
岡田 竜一
岡本 康佑

4 欠席委員 1名

曾根 忠幸

5 審議会の事務及び説明のための出席者

三条市建設部	部	長	三卷 正志
三条市建設部建設課	課	長	笹倉 健児
		建設課長補佐	大坂 市郎
三条市建設部建設課計画整備係	係	長	滝口 靖浩
	主	査	藤田 裕子
	主	任	森 宇史
	主	事	吉原 祥子

6 報道機関傍聴
株式会社三條新聞社
株式会社建設速報社
越後ジャーナルクラブ

7 一般傍聴 1名

8 会議に付した議題等

議第1号 三条市都市計画マスタープラン全体構想案について

議第2号 三条市都市計画マスタープラン地域別構想の方向性について

その他 今後のスケジュールについて

<p>部長</p>	<p>それでは定刻となりましたので、これより令和7年度第1回三条市都市計画審議会を開催させていただきます。私は建設部長の三巻でございます。</p> <p>本日は、ご多忙のところご出席を頂きまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の議題は、「三条市都市計画マスタープランの全体構想案について」と「地域別構想の方向性について」でございます。今年度末を予定しております都市計画マスタープランの改定に向け、前年度に2回開催させていただいた審議会の内容を踏まえましてご審議いただければと思っております。</p> <p>それでは、以降の進行につきましては〇〇会長よりお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>お忙しいところ、また暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。〇〇でございます。では、以降の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>会議に先立ちまして、アナウンスさせていただくことがございます。傍聴の皆さまにお願いがございます。報道機関を除く一般の方につきましては、撮影、録音を禁止させていただいております。また、会の秩序を乱すような行為があった場合は退場いただくことがございますのでご承知置きいただきたいと思います。スムーズな審議会の進行にご協力をよろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>それでは、会議に入りたいと思いますが、会議に入ります前に新年度で一部委員の交替もございましたので、本日お配りしました出欠一覧表の順番で簡単ではございますけれども自己紹介をお願いしたいと思います。では、よろしくお願いいたします。この順番で自己紹介をお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>(自己紹介)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。なお、〇〇委員は所用のため欠席される旨のご連絡を頂いております。</p> <p>続きまして、本日の出欠を報告させていただきます。委員数17名のところ16名の出席ということで、実は〇〇委員が遅れて来られるということで出席が16名、欠席が曾根委員1名でございますので、三条市都市計画審議会条例第4条第2項の規定の定足</p>

数に達しているということで審議に入らせていただきたいと思
います。

それでは、まず資料のご確認をお願いしたいと思います。本日
使用いたします資料は、事務局より事前に送付がございました次
第および資料1～5、ならびに参考資料の7点でございます。資
料4につきましては1ページ目に修正がございました関係で本
日お手元に配布させていただいております。お手数をおかけしま
すが差し替えをよろしくをお願いしたいと思います。その他につ
きましては、出欠一覧表を含めて全てで9点の資料という形にな
ります。一通りお手元にごございますでしょうか。なければ事務局
から。大丈夫でしょうか。ありがとうございます。

続きまして、三条市都市計画審議会運営規程第4条によりまし
て議事録署名委員1名を指名いたします。岡田委員をお願いし
たいと思いますので、後日議事録に署名をお願いしたいと思います。
よろしく申し上げます。

それでは、お手元の次第をご覧いただきたいと思います。まず、
議第1号でございます。「三条市都市計画マスタープラン全体構
想案について」を上程いたします。事務局からのご説明をお願い
いたします。

課長

事務局の三条市建設課長の笹倉でございます。よろしくお願
いいたします。三条市都市計画マスタープランの全体構想案につ
いてご説明いたします。お手元の資料1をご覧ください。

全体構想の案につきまして、前回の審議会で頂いたご意見を踏
まえ、資料に記載の表のように修正を行いました。資料2につ
きましては、それを反映した本文となっておりますので併せてご確
認いただければと存じます。

資料1の表の中の1点目でございます。前回の審議会で追加資
料として配布し説明させていただきました将来都市フレームに
つきまして、資料2の本文の43ページに追記いたしました。本
計画において、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を採用し
将来目標人口としてお示しする旨をご説明させていただいたも
のでございます。

表の2点目でございます。下水道整備への対応についてでござ
います。前回の審議会では「今後の人口減少への対応として適正
な管理について記載してはどうか」というご意見を頂き、75ペ
ージに既設管路の適正な維持管理について追記いたしました。

表の3点目、鳥獣被害への対応についてでございます。前回の
審議会では「近年、鳥獣被害が多く、市内にも出没し被害が発生
している。鳥獣被害の駆除等について記載してはどうか」という

ご意見を頂き、80、81 ページに「三条市鳥獣被害防止計画」に基づき被害防止に向けた環境整備に努めることを追記いたしました。

4 点目は景観への対応についてです。前回の審議会では「景観に関する内容が現行計画よりも弱まっているのではないか。八十里越の開通に伴う玄関口にふさわしい景観について記載してはどうか」というご意見を頂きました。まず、景観に関する内容については、82 ページにも記載しておりますように令和2年度に策定された新潟県景観計画に基づいており、それにより一定の規制が実現されており、独自条例の策定によるさらなる、いわゆる上乘せについては今のところ予定していないということであり、良好な景観形成に努める意識は変わっておりません。また、八十里越の開通については85 ページに自然眺望に配慮した道路景観の確保について触れておりますが、地域別構想の中でも景観の保全について記載する予定でございます。

5 点目、河川整備についてでございます。前回の審議会では「布施谷川の改修は生命・財産への影響が大きいため一番初めに記載してはどうか」というご意見をいただきました。河川の記載順について精査いたしまして、89 ページに記載の1 級河川につきましては県の河川番号順に布施谷川、島田川、新通川、大平川、貝喰川の順に修正いたしました。併せて、50 ページに記載の国県道と市道につきましても路線番号の順に並べ替えを行っております。

6 点目は、原発避難についてです。前回の審議会では「原発避難について何か記載してはどうか」というご意見を頂きました。新潟県原子力広域避難計画では当市は避難区域などに該当していないということもあり、都市計画マスタープランではなく地域防災計画（原子力災害対策編）で対応するものと考えております。なお、災害全般におけるものとなりますが避難路の整備につきましては87 ページに記載をしてあります。

7 点目は、アンケートの有効性についてです。前回の審議会では「アンケートの有効性について、回答者の年齢層が高めだが若者の意見が反映されるよう数値の補正などはしているのか」というご意見を頂きました。

ここで、お手元の参考資料「市民アンケート調査結果」という表題のものをご覧ください。補正につきましては、ウェイトバック補正と言いまして、回答者の年代別人口比が実際の人口比と整合が取れるよう調整する方法がございしますが、アンケートが無作為抽出の段階で全市で行った別のアンケート調査の回収率から抽出数を年代別に調整をいたしまして、その結果、回答者の年代構成は三条市の実態と乖離していなかったため補正の必要はな

	<p>いという結果になったものでございます。</p> <p>資料1にお戻りいただきまして、表の8点目、緑地・公園についてでございます。前回の審議会では「緑地・公園について、市へ政策提言された大学の研究結果とずれが生じているのではないか」というご指摘を頂きました。この提言内容につきましては、都市計画マスタープランの中に取り入れるというよりは公園の再配置計画の中で個別に検討するものと考えてございます。</p> <p>また、資料2では、前回の都市計画審議会資料では未完成となっております土地利用の方針図を更新してございます。市全域図は折り込みのA3版になっています。</p> <p>その他、資料2の中の挿入写真につきましては古い写真を更新し、ミズベリング三条や国道289号八十里越などの写真を追加いたしました。全体構想案につきましては以上でございます。</p> <p>説明ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明につきましてご質問・ご意見等を承りたいと思っておりますがいかがですか。前回の振り返りということで事務局の方でこの全体構想の修正を頂いたところですがけれども、皆様のご意見を踏まえて修正いただいたところですがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。その後の地域別構想の説明の後でもまた質疑の時間を設けますので、もし不明な点等がありましたらまたそこでご意見を伺えればと思っておりますが大丈夫でしょうか。</p> <p>しばらく発言がございませんでしたので、議第1号「三条市都市計画マスタープラン全体構想案について」につきましては、これで終了としたいと思っておりますがご異議ございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ご異議ございませんので、議第1号「三条市都市計画マスタープラン全体構想案について」につきましては以上で終了とさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、議第2号「三条市都市計画マスタープラン地域別構想の方向性について」を上程いたします。事務局から説明をよろしく願いいたします。</p>
<p>課長</p>	<p>地域別構想の方向性についてご説明させていただきます。資料3をご覧ください。</p> <p>まず、都市計画マスタープラン全体の構成について改めてご説明いたします。都市計画マスタープランは目次のとおり4編で構</p>

成されるものとなりますが、今回ご説明する地域別構想は第3編の赤枠でお示した部分になります。なお「第3編 4地域づくりの方針」および「第4編実現化の方策」につきましては、今回ご審議いただいた結果や関係課ヒアリング調査結果等を踏まえ作成する予定としています。

それでは、地域別構想についてご説明いたします。地域別構想とは、全体構想における市全体の都市づくりの方針を踏まえ、身近な地域の将来の姿についてより具体的な方針を示すものです。

資料の裏面をご覧ください。まず初めに地域区分の設定についてです。昨年度の審議会でも少し触れさせていただきましたが、地域区分の考え方につきまして、現行計画においては、主に中学校区を基本単位として13地区に区分しておりましたが、「生産の営み」「生活の営み」に着目した日常生活圏域となる6地域の区分といたしました。

次に、地域別都市づくりの方針について、資料4をご覧ください。6地域の地域の特性や地域の課題を踏まえた将来像と基本目標の改定案でございます。

①嵐北地域です。嵐北地域は、南端は五十嵐川、西端は信濃川が流れる、第二、第三中学校区の範囲となります。

東三条駅及び北三条駅が立地し、東三条駅においては公共交通利用者の拠点となっております。

また、中央、一ノ木戸、東三条などの商店街の他、市役所や市立図書館、歴史民俗産業資料館など各種都市機能が集積しており、歴史的建造物である三条別院や八幡宮・神明宮などの社寺もあります。

市街地においては準工業地域が点在し、利器工匠具製造業の工場や三条鍛冶道場が立地しており、塚野目地区は一部工業地域となっておりますが住宅も多い地区となっております。

住宅地のほとんどは人口集中地区であり、狭隘道路が多く袋小路も存在しています。

地域の課題といたしましては、東三条駅周辺や商店街の機能向上、既成市街地を中心とした住家・店舗の空洞化対策、国道289号などの道路渋滞対策等が挙げられます。

これらの地域特性と課題を踏まえ、将来像は「歴史・伝統を感じながら、便利に快適に暮らす、にぎわいと魅力あふれるまち」といたしました。

基本目標は、「①東三条駅及び北三条駅周辺のにぎわいづくり」「②歴史・文化や伝統産業を守り、交流施設等を活かした地域の魅力づくり」「③安全で暮らしやすく、多様なニーズに対応した、利便性の高い定住の場づくり」とし、駅周辺や商店街の活性化を

念頭に置きながらも、歴史的建造物などの資源や鍛冶伝統産業を継承し、それと同時に渋滞対策や空き家・空き店舗の利活用等による生活環境の向上とまちなかへの居住誘導を進めます。

次に、②嵐南地域は、地域内を新通川と島田川が流れ、北端が五十嵐川となっている、第一、本成寺中学校区の範囲となります。

市道西大崎西本成寺線から北側が概ね人口集中地区となっており、その南側は優良農地が広がっています。

三条駅と東光寺駅を有しており、三条駅の東側は市道新保裏館線の整備により商業施設の進出が進んでいます。

また、本成寺を中心に歴史的建造物が多数存在しており、既成市街地においては利器工匠具製造業の工場など小規模な事業所が多く立地しています。

南東部の丘陵地には、総合運動公園が立地、西側の金子新田地区は工業系施設が集積しています。

地域の課題といたしましては、既成市街地を中心とした住家・店舗の空洞化対策、狭隘道路の改善、西大崎西本成寺線の交通量の増加と沿線の商業化への適切な対応等が挙げられます。

これらの地域特性と課題を踏まえ、将来像は「歴史・伝統や里山景観と調和しながら、多様な営みと暮らしの場となる、にぎわいと活力あるまち」といたしました。

基本目標は、「①歴史・文化や伝統産業と調和する魅力ある地域づくり」「②生産環境の維持・基盤整備による活力ある産業拠点づくり」「③安全で良質な居住環境と利便性の高い定住の場づくり」「④地域資源を活かしたスポーツ・レクリエーションの場づくり」とし、寺院等の風情あるまちなみや利器工匠製造工場を大切にしつつ、既存工業団地の維持や治水等の基盤整備により地域の安全性を確保します。また、総合運動公園をはじめとした環境整備に努めます。

次に、③井栗大崎地域は、北端は信濃川、西端の一部は五十嵐川が流れ、東部に広がる丘陵地からは布施谷川が北端の信濃川に向かって流れる、第四、大崎学園校区の範囲となります。

南東部は森林に覆われた丘陵地となっており、その他は平坦地形で優良農地が広がっています。

JR 信越本線の保内駅を有しており、国道 403 号三条北道路の他、道の駅「庭園の郷 保内」の立地など隣接する加茂市からの玄関口として観光・交流の場としての役割を担っています。

地域の北側には三条金属工業団地や保内工業団地など工業団地が点在、東三条駅の隣接地や大崎地区の国道 289 号沿線においても工場等が立地しています。

また、植物園を有する保内公園や大崎山公園などスポーツ・レ

クリエーション施設が立地しています。

地域の課題といたしましては、国道 403 号三条北道路へのアクセス道路の改善、工業専用地域の周辺に広がる工場立地への対応、用途地域辺縁部における宅地化の拡大抑制等が挙げられます。

これらの地域特性と課題を踏まえ、将来像は「里山景観と調和しながら、活力ある産業と交流を育む、暮らしやすいまち」といたしました。

基本目標は、「①安全で暮らしやすい定住の場づくり」「②地域資源を活かした観光交流とレクリエーションの場づくり」「③生産環境の維持による活力ある産業拠点づくり」とし、洪水や土砂災害に対する防災対策を念頭に置き、大崎山公園や保内公園、道の駅などの地域資源を活かし、隣接する加茂市からの玄関口として交流を育む地域を目指しながら、地域内に複数立地する工業団地における産業機能の維持にも努めます。

④大島地域は、信濃川と中ノ口川に挟まれた区域で、大島中学校区の範囲となります。北部は優良農地が広がり、国道 8 号沿線を中心に県内有数の産地となる果樹園が形成されていますが、一部は工業専用地域として大島工業団地が立地しています。

燕三条駅及び三条燕インターチェンジを中心とした区域は、国道 8 号、国道 289 号が南北・東西に延びており交通利便性の高い拠点を形成しています。

南部の国道 8 号沿線では郊外型店舗が連坦しており、上須頃土地区画整理事業区域には県央基幹病院や市立大学・専門学校の整備の他、大型商業施設の開業など医療、研究、教育、商業機能が集積しています。

また、信濃川河川敷にはミズベリング三条や総合グラウンドなどスポーツ・レクリエーション施設が立地しています。

地域の課題といたしましては、都市機能集積地へのアクセス向上、浸水想定区域における防災対策、優良農地の保全等が挙げられます。

これらの地域特性と課題を踏まえ、将来像は「広域的な連携の軸となる質の高い都市機能の集積地と田園環境が共存する、にぎわいと交流のまち」といたしました。

基本目標は、「①広域的な交通結節機能と多様な都市機能集積を活かした、にぎわいと交流の拠点づくり」「②果樹産業地域の保全・活力づくり」「③安全で暮らしやすく、利便性の高い定住の場づくり」とし、燕三条駅及び三条燕インターチェンジ周辺における交通利便性や医療、研究、教育、商業等の多様な都市機能の集積を活かし、さらなる発展を目指しつつ、地域北部に広がる

農地や県内有数の産地である果樹園の保全・振興に努め、洪水時の防災対策や道路整備等によりさらなる利便性の向上を目指します。

資料の2枚目をご覧ください。⑤栄地域は、西端は刈谷田川、北端は信濃川が流れ、南東部は森林に覆われた丘陵地となる旧栄町であり、栄中学校区の範囲となります。

地域の多くは平坦な地形で優良農地が広がり、居住地はおおむね農村集落単位で全体的に分布しています。

北部の栄スマートインターチェンジ周辺には中央工業団地や工業流通団地が立地し、国道8号沿線においても工業機能が集積、その他に川通工業団地、東部工業団地など、工業団地の立地が多い地域となっています。

JR信越本線の帯織駅を有し、中心部の栄庁舎周辺には教育施設や福祉施設等が集積しています。

南東部の丘陵地には、しらさぎ森林公園がレクリエーション施設として立地し、東山寺や石動神社などの歴史文化資源も有しています。

地域の課題といたしましては、国道8号の早期4車線化の実現、交通利便性の高い立地を活かしたさらなる産業の発展、栄庁舎周辺における行政機能の維持等が挙げられます。

これらの地域特性と課題を踏まえ、将来像は「暮らしと産業が調和する自然・田園環境に抱かれた、便利で暮らしやすいまち」といたしました。

基本目標は、「①栄地域の暮らしの利便性を高める地域拠点づくり」「②周辺環境に調和した産業拠点づくり」「③安全で暮らしやすい生活環境づくり」「④地域資源を活かしたレクリエーションの場づくり」とし、栄庁舎周辺を中心とした生活サービス機能の維持と、国道拡幅による交通利便性の向上を見据えた産業機能の維持・強化を目指します。また、しらさぎ森林公園などの自然環境の保全に努めます。

最後に、⑥下田地域でございます。下田地域は、南部は急峻な山岳と山林であり、福島県境付近の国有林一帯は越後三山只見国定公園および奥早出栗守門県立自然公園に指定されています。北へ向かい五十嵐川が地域の中心を流れており、その両岸に河岸段丘を形成し、その上部は森林に覆われた丘陵地となる旧下田村であり、下田中学校区の範囲となります。

国道289号沿線や五十嵐川、鹿熊川等の川沿いを中心に農村集落地が形成され、周辺には棚田などの農地が広がっています。

その他には、キャンプ場などのアウトドア施設や景勝地である八木ヶ鼻、中浦ヒメサユリ森林公園など豊かな自然を活かした観

光・レクリエーション施設が充実しています。

地域の課題といたしましては、国道 289 号八十里越の開通を踏まえた広域観光施策の推進、景勝地や棚田などの景観の保全、公共交通の利便性向上と下田庁舎周辺における行政機能の維持などが挙げられます。

これらの地域特性と課題を踏まえ、将来像は「豊かな自然景観を守りながら、広域的な交流・連携を図る、いつまでも住みよいまち」といたしました。

基本目標は、「①下田地域の暮らしを支える地域拠点づくり」「②地域資源を活かし、景観に配慮した観光・交流の拠点づくり」「③安全で暮らしやすい生活環境づくり」とし、下田庁舎周辺を中心とした生活サービス機能の維持と、八十里越の開通を見据え八木ヶ鼻などの観光資源を活かしたさらなる交流人口の増加を目指します。また、山間部における土砂災害などの防災対策や公共交通の充実を目指します。

資料 4 の 3 枚目をご覧ください。今ほどご説明いたしました地域別都市づくりの方針の改定案の概要版でございます。4 枚目は現行計画の概要版でございます。改定案と現行計画で地区割りが異なりますが、現行計画の基本目標をそれぞれ集約し、踏襲あるいはブラッシュアップして改正案となっているものでございますが、現行計画の一部の基本目標につきましては今回踏襲せずに削除する案となっておりますのでご説明いたします。

4 枚目の現行計画をご覧ください。第一中学校区の「①三条駅周辺におけるにぎわいと交流の拠点づくり」と第三中学校区の「①市役所周辺におけるシビックコアづくり」につきましては、改定後の基本目標への継承は行っておりません。その理由といたしまして、第一中学校区につきましては都市計画道路新保裏館線が起点から五十嵐川以北まで開通したことにより三条駅東側の商業地化が進んだこと、もう一つの第三中学校区につきましては市立図書館や体育文化施設等の都市機能施設が整備済みとなったことでございます。

地域別の将来像と基本目標の改定案につきましては以上でございます。今回お示した将来像および基本目標を踏まえ、地域別の都市づくりの方針を作成いたします。説明は以上でございます。

会長

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明につきまして、ご質問・ご意見を頂戴したいと思っておりますがいかがでございますか。この地域別構想というのが本日委員の皆様からいろいろご意見を頂戴したいところです。お住まいの地域もあるかと思

	<p>ますけれどもいかがでしょうか。</p> <p>前々回の都市計画審議会でも多分資料3の裏面を見ていただくと分かりやすいと思うのですが、現行計画では13地区あったものが今回6地域に再編、ざっくりとした形になっているということで、そういった形で地域をまとめるということに対しまして、確かご意見を前回の審議会でも頂戴したと記憶はしておりますけれども、13から6地域にしたことに対する懸念や何でも結構でございますが。よろしいでしょうか。二つの地区を一つの地区にまとめたことによって現行計画の目標を踏襲しないというものもあるみたいですが、引き続き継続していくという目標もあるとは思いますが、片方の地区だけ残っていて片方の地区はなくなっているみたいなことが起きていなければいいのでしょうか。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>例えば、一ノ門の原仙さんの前の角がちょっと売地になっているのですが、道路の狭いところという中ではちょうど合う話だと思うのですが、今取得するには一番いいのではないかと。ちょっと中途半端ではあるけれど、押さえておけば、あの角地をちょっと広げられるかなと思ひまして。</p>
課長	<p>都市計画という観点もございまして、今ほどのお話につきましてはどちらかという道路事業の関係もあると思っておりますけれども、私ども建設課といたしましてはそういったご指摘のような空き地になったようなところにつきましても把握しておきまして、必要に応じてより通りやすい道路になるように働きかけを行ったり、それぞれ検討を行っているという状況でございます。</p> <p>都市計画で道路を考えると、まずは都市計画道路の計画というものがあるわけですが、そちらも順次整備を進めるというところでございます。という感じでよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他はいかがですか。</p> <p>では、私からも1点。これは先ほどのお話にもちょっと関係するのですが、13地区から6地域に再編されたということですが、その6地域というのが現行計画の13地区のどこの部分に該当するかという13地区の地区名というのはどこか新しく改定されるマスタープランの中には書かれるのですよね。嵐北地域であれば(第二中学校区・第三中学校区)みたいな形で。</p>
課長	<p>今のところ、地域別構想に中学校区という記載をするかどうか</p>

	<p>までは明確には決めていないところではございます。</p>
会長	<p>あくまでも、もうこの6地域の名称がいきなり出てくるということで、それぞれの範囲はこの地図を見てくださいということに。</p>
課長	<p>はい。基本的にはそのように。</p>
会長	<p>分かりました。</p>
課長	<p>ただ、必要に応じまして第何中学校区の記載もするかどうか含めて検討したいと思います。</p>
会長	<p>はい。いかがでございますでしょうか。お願いします。</p>
委員	<p>この地域設定に関しては前々回の審議会で、大島地区というのは北部と南部で全然性格が違っているのを、もう「生産の営み」と「生活の営み」に着目して整理した結果一つにしましたということなのでしょうから、それを今もう前回で言っていることなので言いませんけれども、ただ、課題として大島地域の新幹線駅周辺や高速道路インターもそうですけれども、広域交流拠点あるいは連携生活拠点となるべき地域と、それから北部の農村地域は全く性質が違うわけです。それを一つに、ちょっと分けにくいなということであればそれはそれでいいのですが、ただ、やはり注意すべきなのは南部の方の都市部というか交流拠点とするべき地域でもかなり農地が残っている現状。農振地域も残っているわけです。</p> <p>そういう中であって、大島地域の地域の課題のところには「優良農地の保全」と書いてあります。しかも「優良農地の保全」という言葉が他にあるかということ、あとは栄地域にしかなくて、下田地域にも書いていなくて、井栗大崎地域にも書いていない。なぜここの大島地域だけ「優良農地の保全」と入れるのかと。これは、北部のことを意識しているのですという意味に解釈すれば分かるのですけれども、一方で、将来像のところでは「都市機能の集積地と田園環境が共存する」と。「共存する」とも書いてあるわけです。そうすると、やはりどうしても今ある拠点地域の農地はつぶしませんよ、優良農地として残しますよという誤ったメッセージをずっと残し続ける。「いや、誤っていないのです。それが市の本音なのです」と言うのだったらそれはそれで分かりませんが、多分これから先のことを考えれば、市がそういうことを</p>

<p>課長</p>	<p>考えているのであれば別ですが、ないのであれば、もうちょっとこの「優良農地の保全」や「都市機能の集積地と田園環境が共存する」というような書き方は考えた方がいいのではないかという気がするのですがいかがでしょうか。</p> <p>ご指摘の部分は、概ねおっしゃるとおりなのかなと思います。あくまで優良農地の保全をするというのは大島地域はメインであると思っておりますが、一方で、須頃地区の農地につきましては都市計画サイドとしては保全というより確かに広域拠点として整備すべき部分なのだろうとは考えておりますけれども、一方で、現時点の農林サイドの考え方では須頃地域の一団の田んぼは極めて優良農地であると捉えられていると聞いてございますので、そこはもう少し明確に整理をした方がいいのかなと考えたところでございます。例えば、「優良農地の保全」につきましては「大島地区の」と付けるなど、もう少し都市計画サイドとして明確化した方がいいかなと思います。検討させていただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。この目標の書き方というか書きぶりというか、これは文章だけではなくて実はこの後図面が地域別構想には必ず付きますので、この目標というのがどの場所を指しているのかというのがそこで出てきますので、そこを見ていただければ多分その辺が少しずつクリアになってくると思うのですが、例えば市街地の農村部。優良農地が混ざっているような、まさに今回ご指摘いただいた大島地区は。だから、例えば大島地域の市街地の部分の方針と農村部の方針みたいな形で、目標をただ1から羅列するのではなくて、ちょっと分けて書いていただくというのも一つの案としてあるのかなと思います。ありがとうございました。</p> <p>他はいかがでしょう。よろしいでしょうか。細かい表現とかでも結構でございます。</p> <p>私も少し細かいことですが、先ほど事務局から説明いただいた中で、地域の課題をご説明いただく中で用途地域辺縁部という言葉が出ていましたが、我々は「辺縁部」という言葉は使わないで「縁辺」としています。論文を書いていると「縁辺」を使い、「辺縁」というのは初めて見るので、これは一般的な表現ではないのかなと思うのですが、何かこだわりがあって「辺縁」という言葉を使っているのでしょうか。そうではないとすれば事務局の方から、表現を変えていただくなりしていただければと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>他はいかがでございませうか。特になければ、この議第2「三条市都市計画マスタープラン地域別構想の方向性について」につきまして終了したいと思ひますがご異議ございませうでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。では、議第2号「三条市都市計画マスタープラン地域別構想の方向性について」につきましては以上で終了したいと思ひます。</p> <p>続きまして、次第3 その他でございませう。今後のスケジュール案につきまして、事務局からご説明をお願いしたいと思ひます。</p>
<p>課長</p>	<p>今後のスケジュールについてご説明させていただきます。お手元の資料5をご覧ください。</p> <p>今後は、地域別の都市づくりの整備方針及び実現化方策等の検討を行い、第2回都市計画審議会では地域別構想と実現化方策の素案をご提示させていただく予定で、10～11月ごろを想定してございませう。その後は、都市計画マスタープラン改定の全編について説明会、動画配信、パブリックコメントを予定してございませう。この動画配信とは、説明会に代わる周知と意見収集の場として考えてございませう。それらを踏まえまして、第3回都市計画審議会では都市計画マスタープラン最終案をお諮りし、議会への報告を経て、令和8年3月末の公表を予定してございませう。</p> <p>なお、今回の審議会後、今月17日に市議会の経済建設常任委員協議会への中間報告として全体構想案をお示しする予定でございませう。以上でございませう。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。特にご質問等はございませうでしょうか。何かあれば。</p> <p>少し私から確認なのですけれども、立地適正化計画の説明はこの次の都市計画審議会でも報告事項か何かで伺えるということなのですでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。その予定でございませう。</p>
<p>会長</p>	<p>分かりました。では、立地適正化計画につきましては前回の都市計画審議会でも報告事項としてあったと思ひました。今回ございませうでしたけれども、次回の都市計画審議会でも立地適正化計画の方も説明があると思ひますので事務局からもよろしくお願</p>

事務局	<p>いしたいと思います。</p> <p>以上で本日予定されておりました日程は終了いたしました。皆様からの質問等がございませんでしたので、これをもちまして本日の都市計画審議会の議事を終了したいと思います。</p> <p>最後に事務局からのお知らせがございます。事務局お願いしたいと思います。</p> <p>(報酬等についての説明)</p>
会長	<p>では、以上で本日の審議会を閉会したいと思います。本日は大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。</p>